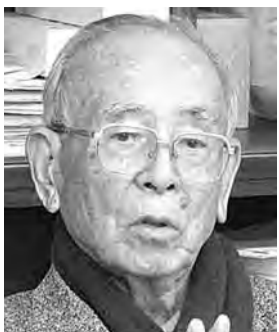


鼎談

戦後70年、ジャーナリズムは今

原 戦前のジャーナリストがどう仲間を作ったか、ある時は負けたりと体験記を探したという。本多勝一さん



原 寿雄氏

原 満州事変の時の大阪朝日の役員

して、軍部を支持し、現在の軍部及び軍事行動は絶対批判を下さず、極力これを支持すべきことと演説している。その直前に起きたのは不買運動です。在郷軍人会がポイコットして、奈良県では一紙も売れなくなった。

という経験はない。満州事件の時も現地に行っていた記者は関東軍に共鳴していた。満州は日本の生命線だという国益論に共鳴していた。今でも国益論は危険です。

「表現」に対する批判々々その歴史や文化を考えると、「表現の自由」そのものが一体どこから来たものか、を考えてしまふ。少数者の人間性を守ろうとして発展した

笑したりすることはできない」と述べ、ニューヨークタイムズは「宗教的感情を故意に害する表現は一般的に掲載しない」と表明し、風刺画は転載せず、ワシントンポストは「宗教に対し明白、故意または不必要に侮辱的な表現は避ける方針だが今回それは当たらない」と説明して掲載した

原 「抗命権」生かさねばBC級戦犯に

原 私も金平さんの云われた抗命権をもっと議論すべきだと思う。そうではないとみんなBC級戦犯になってしまふ。BC級戦犯というのは、上司の命令を受けた場合でも、責任は本人にあるのだと国際法のあり方として決めたものですね。その重要性を議論しなかつた。

原 戦後70年の企画で、あなたが編集長だったら、戦後70年という企画をたてるか」というのは面白いですね。

原 戦後、日本の民主主義がどのレベルまで来たのかの検証をするいい時期だと思う。「民主」という言葉があってもいいのではないかと。

原 ジャーナリストとして、徹底的な事実主義に立ちたい。また私はしばしば覚悟ということを感じています。覚悟は一人ひとりが決めるものです。団結は大切ですが、個人の質が強まることが、個人が強くまとってこそ団結も強まる。

金平 内部的自由の確保と現場主義



金平 茂紀氏

阪朝日を集中攻撃しています。吉野作造が発言しているように、言論の自由、言論の自由、言論の自由を排すという論文を書いています。

金平 戦後70年の企画で、一番月並みなのは、特攻隊員の生き残りに話を聞いておかなければ、若い人ほど言う。もちろんそれは大事だけれど、若い人たちが感じて感じるのは、現代史を知らない

金平 現場で取材することですね。弁の立つ人や、わかりやすくやってくれる人がいいのではないかと。現場で苦労した人が報われる現場主義があれば、組織も個を大切にす

金平 現場で取材することですね。弁の立つ人や、わかりやすくやってくれる人がいいのではないかと。現場で苦労した人が報われる現場主義があれば、組織も個を大切にす

原 戦前のジャーナリストがどう仲間を作ったか、ある時は負けたりと体験記を探したという。本多勝一さん

して、軍部を支持し、現在の軍部及び軍事行動は絶対批判を下さず、極力これを支持すべきことと演説している。その直前に起きたのは不買運動です。在郷軍人会がポイコットして、奈良県では一紙も売れなくなった。

という経験はない。満州事件の時も現地に行っていた記者は関東軍に共鳴していた。満州は日本の生命線だという国益論に共鳴していた。今でも国益論は危険です。

「表現」に対する批判々々その歴史や文化を考えると、「表現の自由」そのものが一体どこから来たものか、を考えてしまふ。少数者の人間性を守ろうとして発展した

笑したりすることはできない」と述べ、ニューヨークタイムズは「宗教的感情を故意に害する表現は一般的に掲載しない」と表明し、風刺画は転載せず、ワシントンポストは「宗教に対し明白、故意または不必要に侮辱的な表現は避ける方針だが今回それは当たらない」と説明して掲載した

藤森 あらゆる権力と距離をとる



藤森 研氏

藤森 わたしが70周年企画を立てるとしたら、物差しは憲法の3本柱です。国民主権は90年代にはさらに進むと思えました。住民投票とか情報公開とかが広がっていた。しかし94年に小選挙区比例並立制に変えられてし

藤森 わたしが70周年企画を立てるとしたら、物差しは憲法の3本柱です。国民主権は90年代にはさらに進むと思えました。住民投票とか情報公開とかが広がっていた。しかし94年に小選挙区比例並立制に変えられてし

ブラックバイトが映し出す 若者の貧困と世代間のずれ



レイバーフェスタのトークイベントに出演した筆者(右)

「ブラックバイト」という言葉が、あちこちで聞かれる。アルバイト職場が「ブラック企業」並みの過酷な状態になっている現象を表した言葉だ。

昨年12月、労働関係の文化祭ともいえる「レイバーフェスタ」が都内で開かれ、バイト学生らがその実情を報告した。

深夜の営業を未経験のバイト一人に切り回させる外食産業、バイト学生を週70時間働かせて体を壊させた大手衣料会社、

「法律を守っていたら店はやっていけない」と逆切れる社長など、異様な働き方が相次いで浮かんできた。勤務先の大学の労働社会学の講義でも、病気になるまで店長に休みたいと連絡したら「代

わりを探せば休んでいい」と言われ、友人たちに電話をかけたままの学生がいた。ガソリンスタンドのバイトでは、客への物販成績がいい順にシフトを選べるという仕組みの中で、授業に出るため営業成績を上げなければならぬという例もあった。

バイト先を何軒回っても採用を断られ、「就活」ならぬ「バイ活」を続けたいという学生もいる。「バイ活」の失敗組は、

奨学金の受給者が急増する。しかも日本の奨学金は、返済が必要な「貸与型」つまり教育ローンがほとんどで、利子付きも多い。

その結果、高校時代から借り始めると、大学卒業時に計数百万円の奨学金返済を迫られる場合も

少ない。卒業しても低賃金の非正規社員にしかならず、奨学金を返済できないことを恐れる若者たちは、できるだけ借りにすぎませようとバイトへ向かう。

その結果、バイト労働力の供給は増え、買い手市場となる。

しかも「バイトは学業の傍らの軽い仕事」という思い込みが世間に根強いので、買いたたいても批判を浴びにくい。

これを社員代わりに使えば、人件費を大幅に下げられる。ここにブラックバイトの横行が生まれる。

バイトに追われて教職の資格がとれない、試験が受けられないなど、その過酷化は若者の将来を

リレー時評



J.C.J.代表委員 清水正文

昨年12月30日、閉庁中の大阪府役所で開かれた、大阪府を廃止・解体する「大阪都」構想をめぐる、橋下・維新の会は第20回法定協議会を強行した。昨年10月に府議会・大阪府議会で否決された「協定書」と同じ内容で再提出し、2・3月議会で可決・成立させるため、1月13日の法定協

維新・公明で「大阪都」構想協定書案が決定

で採決するよう提案した。公明党はこれまで「市

の意向を受けて、「協定書」の内容には反対するが、住民投票までは賛成する」と態度を急変させ、賛成多数で橋下市長の提案通り可決された。

公明党はこれまで「市

の意向を受けて、「協定書」の内容には反対するが、住民投票までは賛成する」と態度を急変させ、賛成多数で橋下市長の提案通り可決された。

の意向を受けて、「協定書」の内容には反対するが、住民投票までは賛成する」と態度を急変させ、賛成多数で橋下市長の提案通り可決された。

の意向を受けて、「協定書」の内容には反対するが、住民投票までは賛成する」と態度を急変させ、賛成多数で橋下市長の提案通り可決された。

の意向を受けて、「協定書」の内容には反対するが、住民投票までは賛成する」と態度を急変させ、賛成多数で橋下市長の提案通り可決された。

慰安婦問題は捏造じゃない！

植村隆さん提訴報告集會に300人超

「名誉回復と人生の再地裁に提訴した。」

提訴後に「植村さん名譽棄損裁判 提訴報告集會 慰安婦問題は捏造じゃない」と書かれた横断幕を掲げた参院議員会館講堂で集會(弁護団主催)が開かれ、参集した300人を超え、人々を前に植村さんが報告した。

植村さんは24年前の1991年に大阪社会部記者時代に韓国で初めて名乗り出た元朝鮮人慰安婦に取材し、つらい体験を署名入りで2本、記事にした。これが「植村バッシング」が起きるもとなった(朝日新聞は8月5日付紙面で捏造を否定)のだが、不当なバッシングによって就任が決まっていた

た神戸の女子大教授を13年3月に辞任し、さらに12年3月から務めていた北星学園非常勤講師も一時は契約解除に追い込まれた。

大学側に電話、メール、手紙などで「辞めさせなければ危害を加える」という脅迫が繰り返されたからだ。

植村さんは「ジャーナリストでもある私への攻撃はあり得る」としているが、その矛先が息子や娘に及んだことが裁判で決着をつける大きな動機になった。

「関係ない家族まで巻き込まれた。とくに17歳の娘の顔写真がネットに流され、罵詈雑言を浴びせられた。時間がたつにつれてネット上で悪質メールがどんどん増え、まるで白いシ



1月9日に開かれた裁判提訴報告集會で挨拶する植村隆さん

2月17日に植村さん講演会

J.C.J.は2月17日(火)東京都文京区民センター3階大会議室で「慰安婦証言、捏造ではない」をテーマに植村隆さんの講演会を開催する。

開場は夕方6時、開演は6時30分。9時に終了。資料代1000円、学生500円。慰安婦問題を知る絶好の機会です。参加をお願いします。

高まる沖縄の声を米国にどう伝えるか

戦略的な島ぐるみ外交の恒常化を

「これ以上ないほど

沖縄はその意思を明確に示しました」1月15日に東京で要請行動を行った沖縄県議団の言葉だ。

沖縄では、知事選、統

く衆院選で、辺野古基地反対派が歴史的な勝利をおさめた。知事選の直後、多くの米メディアが翁長氏の「日米政府に沖縄のメッセージを伝える」との発言を引用して氏の勝利を報道した。

辺野古の工事が進む中、現場での、また、日米政府への対応を行いなから、翁長知事はワシントン事務所設立の準備を進め、また「オール沖縄」の象徴である「島ぐるみ会議」でも訪米活動

を展開された。表面的にはイスラム過激派と表現の自由の衝突だが、根底には欧米キリスト教社会と中東・アフリカ・アジアに広がるイスラム社会の、歴史

活動のサポートを行った(名護市はNDの団体会員)。

もつとも、歴史問題やTPPなどに米国の日本関係者の意識が移るにつれ、ワシントンにおける沖縄米軍基地の議論は停滞し、話題に上る頻度も低下してきた。

名護市長の訪米では「こういう声が存在することを私たちに思い出させる」との声まで聞かれた。「既に終わった問題」であつたにもかかわらず、選挙を経た現在、米関係者は「事態が複雑になった」と認識している。

「オール沖縄」として声を伝えられるようにな

して共和国を生み出した。王政を支えた国王・貴族・カトリック僧侶の三身分を廃止し、市民が主人公になった。国王はギロチンに掛けられ、貴族の特権は廃止され、

働かかけを行うことも極めて重要だ。恒常的な戦略的外交を行うのは容易ではないが、大使館も日本企業もこの方法で日米外交を行ってきた。

ワシントンでは民主主義や人権の観点に加え、安全保障政策の観点から物事を語らねば耳を貸してもらえない。米海兵隊の役割を分析すると「抑止力」の観点からも米海兵隊が沖縄にいる必然性はないことがわかる。

(詳細は書籍『虚像の抑止力(ND編)』旬報社)』安全保障の観点からの分析を、ワシントンの安保専門家と共に深めることも重要だ。

鳩山政権の教訓を踏まえ即効性を求めてはならない。国内外での着実な取り組みが続いてこそ変化が生まれるだろう。こ

れまでにない戦略的恒常的な翁長外交、そして、オール沖縄での沖縄外交を、NDでは全面的にサポートしていききたい。

猿田佐世(新外交イニシアティブ(ND)事務局長/弁護士)

旧植民地から移住した1世から生まれた2世、3世は仏市民権を持ちながら差別されている。これがイスラム過激派を生む温床だ。

「表現の自由」は民主主義を支える根底にある。一方、宗教的・民族的差別は民主主義に反する。シャルリ・エブド事件は「表現の自由」と宗教的・民族的差別の相克を21世紀の世界に投げかけたものであるが、その解決法は今のところ見えていない。

根底にムスリム差別—仏風刺紙襲撃事件

的・文化的相克がある。欧州帝国主義が、アジア・アフリカを植民地化した歴史が背景にあるからだ。

1789年のフランス革命は絶対王政を倒

僧侶の優位を排除した世俗社会が成立した。以来フランスでは公

共の場で、十字架など宗教的シンボルが禁じられることになった。と

仏国民議会は革命以来の伝統に従って、宗教的シンボルのヒジャブは世俗性に反するとして、ヒジャブの女性が公共の場に立つことを禁じる法律を作った。し

意味するということ。かつてアフリカに植民地を持っていたフランスでは人口の7%強、450万のムスリム少数派が多数派キリスト教徒の中で生きている。

旧植民地から移住した1世から生まれた2世、3世は仏市民権を持ちながら差別されている。これがイスラム過激派を生む温床だ。

「表現の自由」は民主主義を支える根底にある。一方、宗教的・民族的差別は民主主義に反する。シャルリ・エブド事件は「表現の自由」と宗教的・民族的差別の相克を21世紀の世界に投げかけたものであるが、その解決法は今のところ見えていない。



伊藤力司の ワールドウォッチ

1789年のフランス革命は絶対王政を倒

僧侶の優位を排除した世俗社会が成立した。

以来フランスでは公

共の場で、十字架など宗教的シンボルが禁じ

れることになった。と

仏国民議会は革命以来の伝統に従って、宗教

的シンボルのヒジャブは世俗性に反するとして、

ヒジャブの女性が公共の場に立つことを禁

じる法律を作った。し



南京大虐殺77周年 証言を聞く東京集会

南京大虐殺から77年

被害者の証言を聞く集会に150人

1937年12月16日。村人は手作りの「日の丸」で迎えたが、地面にひざまずいている時に機関銃で撃たれ十数人が死亡した。

父は刀で突き刺され、死んでいた。「わたしは母は死体の前で泣き続けた。周辺は死体だらけ。埋める所がなく困り果て、春までそのまま放置した」と、顔をゆがめた。

3歳年上のいとこの女性には強姦されたが、「誰にも言わないで頼まれた」と明かした。

艾さんは「日本軍が犯した罪は絶対に忘れられない。若い人には歴史の事実を知ってほしい」とした上で、聴衆に向かつて「苦難に満ちた歴史を繰り返してはならない。(中日が)二度と戦争をしないように頑張ってほしい」と呼び掛けた。

講演した琉球大学名誉教授の高嶋伸成さんは、南京大虐殺否定派の人たちが軍服を脱いだ中国兵

昨年、シエイクスピアの4大悲劇の一つと呼ばれる『リア王』が、ここで囲った空間があるのみである。

「リア王」の本公演に始まり、シエイクスピア祭と称してリーディング公演を含めていくつか

その「謎」は舞台を観ればすぐにわかる。その掉尾を飾ったのが、『リア王』である。演出

ものがほとんどない(美術師 島次郎)。あるのは、役者が出入りするた

め穴のあいた壁だけで、ドアすら無い。唯一舞台上に存在する(建物)は、

文学座アトリエ公演 『リア王』

かつて、これほどまでに 老いさらばえたリア王があつたらうか

演劇回り舞台

全員喪服を思わせる黒を基調とした無彩色の服を着ており、エドガーに至っては、上半身裸であ

さすが文学座だけあつて、追放されながらも王に忠義をつくすケント伯爵(戸山誠二)、王に付き添う道化(金内喜久夫)など、芸達者な役者がそろうについて、観客をあきさせない。他に長女ゴネリル(郡山冬果)、次女リーガン(浅野文子)、グロスターの私生児エドモンド(木場允

視)などが活躍。(1月6~22日 文学座アトリエにて上演) 安住邦男



撮影 宮川舞子

追及！ブラック企業

しんぶん赤旗日曜版編集部 編

苦しむ若者へのアドバイスから法規制の提案へ

2014年度JCJ賞 筆でなおよさがかる。受賞の「しんぶん赤旗」日曜版編集部が、受賞報道後の動きも加え本書をまとめた。受賞理由に、〈個別企業名を明示して実態を追及する「報道姿勢」は「特筆に値する」と絶賛された筆致は、加

書評

本・BOOK・ほん

（価格は税別です）



企業規制法案の提案にあたって」を掲載。法案は三つの柱から成る。一つ目は長時間労働是正。二つ目は離職者数公表と賃金の内訳明記。三つ目はパワーハラスメントをやめさせること。

ワーハラスメント、選別に広がっていることを明かす。首都圏学生ユニオンは、アルバイト熟講師の実態を報告している。「ブラック企業から身をを守るための対処法」も、「一人で我慢しないで労働組合に相談する」「上司に暴言をメモする」など具

最後の第7章では、ブラック企業を追及する共産党参議院議員3名（山下芳生書記局長、田村智子、吉良よし子）が語りつつ、昨年10月15日に発表されたブラック企業規制法案要項」と「ブラック酒井憲太郎（報道写真家）

抵抗の拠点から 朝日新聞「慰安婦報道」の核心 青木 理

歴史の真実を歪めてよいのか！ 朝日バッシングの本質を衝く



よつに、朝日が政治的意図をもって告発したり、宣伝したりしたのではない。ごく普通の取材と報道なのだ。

春秋（文藝春秋編）文春新書。これくらい挙げれば十分だろう。書店に並ぶのは朝日バッシングの本ばかり。そんな出版界の状況下で、この流れに抗するほとんどの唯一のまともなレポートだ。

朝日バッシングの経過と背景を整理する中で、この攻撃が大きな政治の渦中から生まれていることを明らかにし、さらに関係者の徹底的なインタビューで、卑劣な攻撃が真実とは全く違っていることを事実で暴く。

『徹底検証朝日「慰安婦」報道』（読売新聞出版局・中公新書ラクレ）、『歴史戦—朝日新聞が世界にまいた「慰安婦」の嘘を討つ』（産経新聞社・セレクト新書）、『従軍慰安婦—朝日新聞vs文藝』

原発ゴミはどこへ行く？ 倉澤治雄

「燃料デブリ」どう処理する？ 福島に堆積する恐怖の原発ゴミ



は、高レベル放射性廃棄物の処分問題から始まった。フィンランドの処分場オシカロの視察によって小泉氏は脱原発論者となった。本書の著者もオシカロの取材から問題提起する。

著者はチェルノブイリにも飛び、さらに遡って、原発史上最初の過酷事故といわれるスリーマイル島の現場へと足を運ぶ。二つの事故と福島原発事故の相違と類似を克明に検証していく。そしてたどり着いたのが、残念ながら日本の原発行政の絶望的状況だった。

本書のタイトルは「原発ゴミはどこへ行く？」である。しかし、その問いに対する答えは最初から分かっている。本書が明らかにするように「行くところがない」のだ。小泉元首相の脱原発論

短歌

現代の窓

評小石雅夫

杜澤光一郎（コスモス）

秘密保護法の強行採決から原発再稼働へと繋がる巨き連結器見ゆ 短歌1月号「狭間の闇」

「集団的自衛権・ダメよくダメダメ」が流行語大賞となり今年尽きゆく 同

健康さん・文太が逝きにたる年、危険ドラッグ・マタハラ・壁ドンなどの新語が流行る 同

くると年の狭間に透けて見ゆ災害の連鎖と多数の殺戮 同

毎年歳末の話題となる恒例の「流行語大賞」と「今年の漢字」があります。さて、昨年の世相は国民的にはどんな一年だったのでしょうか。

二首目は、12月1日発表された「流行語大賞」の年間大賞に「集団的自衛権」と「ダメよくダメ」の2語が選ばれました。この2語をいっしょにすると、まさに「集団的自衛権・ダメよくダメ」になります。それがあらぬか「集団的自衛権」の対象者が史上初辞退。「辞退した対象者は非公表」としましたが自明のことです。

三首目は、昨年つづけて逝った二人の俳優高倉健、菅原文太。共にやくざ映画で売り出しながらその後半の生き方の真摯さは自己利害にのみ走る政治家などよりも人間的なものであったとしての追懐と暗喩とも読めなくはない歌でもあります。

四首目は、日本でも世界でもさまざまに騒立つ気配に感じる現代の不安。新しい年になって不幸にしてその序幕が上がりかけているともいえる事件が起こっています。（「新日本歌人」編集長）

追跡・沖縄の枯れ葉剤 埋もれた戦争犯罪を掘り起こす ジョン・ミッチェル著 阿部小涼訳

沖縄県民の健康も顧みない 日本政府と米軍の口裏合わせ



Sを駆使した手法で30人を超える帰還兵との対話に成功する。

その多くが沖縄で枯れ葉剤を浴び、ダイオキシン被曝の病に苦しんでいた。その証言はジャパン・タイムズ紙にスクープ記事としてたびたび掲載されてきた。サッカー場のドラム缶と彼らの証言はびたりと符合する。ドラム缶から枯れ葉剤の成分が検出されたのは言うまでもない。

ベトナム戦争が終わって40年。だが枯れ葉剤の悲劇は今も続いている。2013年夏、嘉手納基地の返還跡地のサッカー場からドラム缶が掘り出された。那覇で写真展を行なっていた私評者・中村は、現場に急行して驚愕した。ドラム缶にDOW CHEMICALの文字があるではないか。ダウ・ケミカル社は枯れ葉剤を米軍に納めていた化学企業である。

80年代から沖縄で調査・取材してきた中で、ついに現物に出会ったのだ。一方、本書の著者ジョン・ミッチェル（英国人記者）は4年前から沖縄の枯れ葉剤を追跡していた。沖縄から帰ったアメ書だ。（高文研1800円）

中村梧郎



映画の

鏡

ミケランジェロの叫びが聞こえる 『ヴァチカン美術館 天国への入り口』 生還者が証言するホロコーストの歴史的解明 『不正義の果て』

カトリックの総本山であるヴァチカン宮殿。歴代ローマ教皇の収集品を展示するヴァチカン美術館に4K3Dカメラが入った。ラファエロ、ミケラン

ジェロ、ダヴィンチのルネサンス期の巨匠の他、ゴッホ、シャガール、ダリの作品も見られる。ヴァチカン美術館長の案内に合わせ、驚異の4K3Dカメラの映像と音

楽が見る者の心をとらえて離さない。天井画をミケランジェロが描いた天井画だ。20mの高さの天井は40×13mの広さで、旧約聖書の九つの場面を描いている。

この広大な天井画をミケランジェロは4年をかけて、ほとんど独力で描いたとい

う。また、天井画完成の映画の撮影には4カ月かかり、彫刻・絵画はあ



© direzione dei musei - governatorato s.c.v

20年後、60歳近くになったミケランジェロは「最後の審判」の制作を依頼され、6年の歳月をかけて、一人で完成させた。

たかも奥行きがあるように浮かび上がり、臨場感ある立体映像でヴァチカン宮殿にいるかのような感覚を味わえる。

『不正義の果て』はフランスの監督クロード・ランスマン(89)がホロコーストの記憶を記録したドキュメンタリーの最新作である。『シヨア』(1985)、『ソビエト』(2001)に続き、2013年に発表された。ア

イヒマンが選んだ模範収容所の生還者が証言するホロコーストの歴史的解明の一つである。哲学者ハンナ・アーレントのアイヒマン裁判レポートの「凡人」説に対し、この生還者は、残忍な悪魔だと述べている。

『ヴァチカン美術館』は2月からシネスイッチ銀座『不正義の果て』は2月渋谷イメージフォーラムで公開予定。今井潤

読売・産経の両紙が「安倍政権の応援団」であることなど、この「ジャーナリスト」読者には「釈迦に説法」とも言えるが

新聞

佐賀知事選にみる読売の政権応援団ぶり

読売に見る典型的な2例が、1月に入ってから特に目に付いた。産経は九州でも発売されているが、入手が困難なので、読売と朝日、毎日(以上西部本社版)、西日本新

1月11日投票の佐賀県知事選で、自公の推薦候補が、告示9日前に立候補を表明したJAGL

（紙面中央部）扱い。他の3紙の記事には「知事選3連敗」がもたら

る「ジャーナリズム」の「権力に不都合なことを書かれてい

るほか、「安倍政権に打ち上げ」「安易な中央主導の失敗」との見出しで「政

権にとつて、手痛い失点だ。権力をチェックする「ジャーナリズム」の一員として正常な反応だ

た。「読売は新聞ではなき」と、当然の指摘をした。14日には朝日、西

本が社説を掲載。朝日は「自民の敗北 佐賀の乱で見えたこと」と題して「問われたのは、民意に

対する安倍政権の姿勢そのもの」、西日本は「政権の押し付けを拒んだ」との見出しで「政権は、も

と地方の声を傾けよ」と切り込んでいる。1月6日の朝刊でも、読売の「安倍政権応援団」ぶりは際立っていた。安

月間マスコミ批評

「消滅可能性都市」。日本生産性本部傘下の組織が発表した用語が一人歩きしている。20〜39歳の女性の割合が50%をきれば自治体が消滅するとい

「第二章「人口」と、1月5、6日のNHK「クロズアップ現代」シリーズ「地方から日本

を上げる」を例に、地域声もしい村で、野菜を

常勤医ゼロ、子どもの富と文化が都市に偏在し

た現象で、一番の問題は

などにも思い切った取り組み

んだのも成果だ。

育園も満杯で人口が増加

に転じている。漁業などの地場産業を

中心に、若者の起業支援

年年初のテレビでは、各地で続く人口減少

や中小企業が当面する難

題に取り組み、展望を切

り開こうとしている現状

を見てみたい。

前者はBS民放5局の共同制作。歴史人口学者

は量れない暮らしの質が

致に取り組み、今では保

都会から新潟にUター

治体や地元企業が、展望

「米宏・未来への伝言」ニッポン100年物語

共同制作。歴史人口学者

は量れない暮らしの質が

致に取り組み、今では保

都会から新潟にUター

治体や地元企業が、展望

を追い

る。

紹介した二つの番組とも、苦境に立たされた自

治体や地元企業が、展望

「米宏・未来への伝言」ニッポン100年物語

共同制作。歴史人口学者

は量れない暮らしの質が

致に取り組み、今では保

都会から新潟にUター

治体や地元企業が、展望

を追い

る。

紹介した二つの番組とも、苦境に立たされた自

治体や地元企業が、展望

「米宏・未来への伝言」ニッポン100年物語

共同制作。歴史人口学者

は量れない暮らしの質が

致に取り組み、今では保

都会から新潟にUター

治体や地元企業が、展望

を追い

る。

紹介した二つの番組とも、苦境に立たされた自

治体や地元企業が、展望

「産経」12月30日付に立ち入らないことを徹底すると約束した。報告

朝日新聞社による慰安婦報道を検証する第三者委員会が22日、報告書を公表した。

虚偽だった「吉田証言」の誤報を長年放置し、取り消す対応などが遅れたことを「読者の信頼を裏

切るもの」と批判し、8月に行われて以来、指定を始めた際に謝罪しなかった

ことは経営陣の誤った判断と指摘。ジャーナリス

ト池上彰さんのコラム掲載を見送ったのは、木村伊量(ただかず)前社長

が掲載拒否を事実的に判断したと認定した。

そのうえ、思い込みをただし、意見が分かれる問題では

継続的報道の重要性を再確認するよう提言した。

「朝日」12月23日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は

「朝日」12月27日付は



「朝日」12月27日付は

秘密保護法「廃止」をあきらめない

違憲訴訟原告団「緊急シンポ」レポート



緊急シンポジウムには100名以上が参加した 撮影＝橋詰雅博

立法府が行政より下に 堀敏明 戦争への道を切り開く 足立昌勝 国民民主権の危機 宇都宮健児

昨年12月10日の法施行日にぶつけたのが緊急シンポジウム「秘密保護法「廃止」をあきらめない」。シンポは同法が表現の自由などを侵害するとして3月末に東京地裁に違憲訴訟を提起したフリーランス表現者42人が集まる原告団が主催。東京都千代田区の日比谷図書文化館小ホールで開かれ、平日の午前中にもかかわらず定員60人を大きく上回る約100人が参加。この違憲訴訟への関心の高さが示された。

「特定秘密の指定や解除が適切かどうかをチェックするため衆参両院に『情報監視審査会』が常設される。しかし非公開の審査会で秘密を知らされた国会議員が国会外でそれを漏らせば懲役5年。そもそも審査会に情報提供するかどうかは内閣が決めるので、情報を出さないケースも十分あり得る。これでは国権の最高機関であるはずの立法府が行政より下に位置してしまう。つまり行政が立法の上に立つ。パランスがとれていた三権分立が崩壊する」堀敏明

「特定秘密の指定や解除が適切かどうかをチェックするため衆参両院に『情報監視審査会』が常設される。しかし非公開の審査会で秘密を知らされた国会議員が国会外でそれを漏らせば懲役5年。そもそも審査会に情報提供するかどうかは内閣が決めるので、情報を出さないケースも十分あり得る。これでは国権の最高機関であるはずの立法府が行政より下に位置してしまう。つまり行政が立法の上に立つ。パランスがとれていた三権分立が崩壊する」堀敏明

「先日の臨時国会でテロリスト資金凍結法が成立した。テロリストに指定できないのはいうまでもないが、預けたお金の引き出しもできません。政府は、テロリスト団体は日本にまだ存在しませんと答弁しているにもかかわらず資金凍結法ができてしまった。拡大解釈によりある勢力などがテロ指定されたら口座開設できず、お金も動かさない。また、防犯カメラと称して、監視カメラを街中のあちこちに設置している。盗聴法（通信傍受法）の対象を拡大したり、通信会社の立会人がなくても盗聴ができるという盗聴法強化案が1月下旬の通常国会に提出される。盗聴法、秘密保護法、創設される見込みの共謀罪はワンセット。これにより監視社会を超えて『超監視社会』が実現されようとしている」(足立さん)

「先日の臨時国会でテロリスト資金凍結法が成立した。テロリストに指定できないのはいうまでもないが、預けたお金の引き出しもできません。政府は、テロリスト団体は日本にまだ存在しませんと答弁しているにもかかわらず資金凍結法ができてしまった。拡大解釈によりある勢力などがテロ指定されたら口座開設できず、お金も動かさない。また、防犯カメラと称して、監視カメラを街中のあちこちに設置している。盗聴法（通信傍受法）の対象を拡大したり、通信会社の立会人がなくても盗聴ができるという盗聴法強化案が1月下旬の通常国会に提出される。盗聴法、秘密保護法、創設される見込みの共謀罪はワンセット。これにより監視社会を超えて『超監視社会』が実現されようとしている」(足立さん)

「国民民主権が危うくなる。それでもなくても米軍移転費用を日本が肩代わりした沖縄密約、福島第一原発事故でのメルトダウン（炉心溶融）の事実、在日米軍の駐留を違憲とした砂川事件の伊達判決にのみ最高裁の田中耕太郎裁判長が駐日米大使館首席公使と会い、裁判の見直しを伝えたことなどを日本は隠ぺいしていた。情報の徹底公開をしないのに行われ、臭いものにはふた、国に都合な事実を隠してしまう隠ぺい体制が強化される。情報公開なくして国民民主権はない」。

「国民民主権が危うくなる。それでもなくても米軍移転費用を日本が肩代わりした沖縄密約、福島第一原発事故でのメルトダウン（炉心溶融）の事実、在日米軍の駐留を違憲とした砂川事件の伊達判決にのみ最高裁の田中耕太郎裁判長が駐日米大使館首席公使と会い、裁判の見直しを伝えたことなどを日本は隠ぺいしていた。情報の徹底公開をしないのに行われ、臭いものにはふた、国に都合な事実を隠してしまう隠ぺい体制が強化される。情報公開なくして国民民主権はない」。

憲法裁、統合進歩党に解散命令 韓国憲政初 「政党活動の自由」論議呼ぶ

大統領に対する弾劾審判を上回る。韓国の憲法裁判所は、裁判官8対1の意見で解散を決定した。また、5人の所属議員については議員職の喪失を命令した。統合進歩党の目的と活動は、民主的基本秩序に違反し、さらに、事実的に社会に害悪を与える危険性があるというのが多数意見である。一部の言動を全体として一般化してはいけないと反対意見述べた裁判官はただ一人にすぎなかった。憲法裁判所の決定によって、選挙管理委員会は、政党登録を抹消し、これと類似な党名を利用することができなくなる。また、党費・寄託金・国庫補助金など党の財産は国庫に帰属される。

7年改正された憲法によつて1988年設立された。1972年には維新が設立されたが、憲法に對する実際の判断権は大法院に委ねられており1987年までは有名無実な機関に過ぎなかった。国民は、民主化運動のシンボルの一つとして、違憲裁判所を復活させ、国の暴走を裁く権限を憲法裁判所に与えた。違憲審判権、弾劾の審判、政党の解散、国家機関間や国家と地方間の争議の審判などを担当し、9人のうち6人以上の賛成で決定を下す。

き上の特徴の一つだ。独裁政権によって憲法が無力化された過去への反省があったからだ。ただ、9人の憲法裁判官は、政治の影響から完全に独立した存在ではない。大統領、国会と大法院長がそれぞれ3人ずつ推薦する方式は、政府与党の影響を打ち切ることができない構造である。今回は少数意見を述べた裁判官は与党推薦のみである。また、6年で再任可能である裁判官の任期は、本職の機関の立場を考えないといけない環境を作ってしまう。

2014年12月19日韓国憲政史上初の政党解散が下された。2013年11月5日、「政党解散審判請求」が国務会議で承認されてから410日間の攻防の決着である。20回の公開弁論、30回の18名の参考人および証人の出席は2004年盧武鉉の軍事政権下で恐れることなく活動をしてきた。市民運動の先頭に立つ朴弁護士を見習い、秘密保護法が施行されてもメディアやフリージャーナリスト、市民団体など行い有名になった。市民団体は1万4000人のメンバーがいて年間活動費は約2億円。55人の専従者がソウル市内の自社ビルで仕事をしている。朴市長は非正規労働者の正規労働者化への後押し、8万戸の公共賃貸住宅の建設、予算の一部を市民が使えるなど次々と新施策を実施している。韓国の市民運動はかつて

「日本はこれからどうすべきかについて、宇都宮弁護士は2011年10月に当選したソウル市長の朴元淳弁護士を引き合いに出し、こう言った。「朴弁護士は韓国の代表的な市民運動団体『参与連帯』を創設。腐敗議員を名指して落選運動を行って有名になった。市民団体は1万4000人のメンバーがいて年間活動費は約2億円。55人の専従者がソウル市内の自社ビルで仕事をしている。朴市長は非正規労働者の正規労働者化への後押し、8万戸の公共賃貸住宅の建設、予算の一部を市民が使えるなど次々と新施策を実施している。韓国の市民運動はかつて

「日本はこれからどうすべきかについて、宇都宮弁護士は2011年10月に当選したソウル市長の朴元淳弁護士を引き合いに出し、こう言った。「朴弁護士は韓国の代表的な市民運動団体『参与連帯』を創設。腐敗議員を名指して落選運動を行って有名になった。市民団体は1万4000人のメンバーがいて年間活動費は約2億円。55人の専従者がソウル市内の自社ビルで仕事をしている。朴市長は非正規労働者の正規労働者化への後押し、8万戸の公共賃貸住宅の建設、予算の一部を市民が使えるなど次々と新施策を実施している。韓国の市民運動はかつて

「日本はこれからどうすべきかについて、宇都宮弁護士は2011年10月に当選したソウル市長の朴元淳弁護士を引き合いに出し、こう言った。「朴弁護士は韓国の代表的な市民運動団体『参与連帯』を創設。腐敗議員を名指して落選運動を行って有名になった。市民団体は1万4000人のメンバーがいて年間活動費は約2億円。55人の専従者がソウル市内の自社ビルで仕事をしている。朴市長は非正規労働者の正規労働者化への後押し、8万戸の公共賃貸住宅の建設、予算の一部を市民が使えるなど次々と新施策を実施している。韓国の市民運動はかつて